事業改善について県民の皆様のご意見を募集します！

三重県では、事業の見直しにあたり、事業マネジメントシートによる自己評価に加え、外部有識者からの意見の聴き取りを実施する「事業改善に向けた有識者懇話会（ブラッシュアップ懇話会）」を開催しています。

懇話会において、より多様な発想を反映させるため、広く県民の皆様のご意見を募集します。

事業改善について、県民の皆様のご意見をお待ちしています。

施策２２７：地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実

※全て記入する必要はありません。

応募したい施策・事業に記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施策 | 目標項目（県民指標） | 目標値 | 実績値 | 達成状況 |
| 地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実 | 県内高等教育機関卒業生の県内就職率 | 59.0％ | 48.1％（速報値） | 0.82 |
| 現状とこれまでの取組 |
| 【現状】・若者の県内定着を推進するため、県内高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）の卒業生のうち県内に就職した者の割合を、令和元年度（令和２年３月卒業）は59.0%を目標に取り組みましたが、実績値は48.1％（速報値）と目標に達しておらず、若者の県内定着は厳しい状況となっています。（県内高等教育機関の卒業生のうち就職者数3,164名、県内就職者数1,523名）・学生の就職活動の時点では、中京地域の経済が活況であり、近隣県の中には、本県以上に有効求人倍率が高水準で推移している県もあり、県内高等教育機関においても県外企業からの求人が多い傾向となっているため、県内就職率が伸び悩んだことが要因の一つと考えられます。【これまでの県の取組】・「高等教育コンソーシアムみえ」の取組県内14の高等教育機関と県で構成する「高等教育コンソーシアムみえ」において、学生が三重への知識・愛着等を持てるよう開発した「食と観光実践」、「三重の歴史と文化」などの「三重を知る」共同授業を行っています。（令和元年度：５高等教育機関の学生約230名が受講）・学生等への奨学金返還の支援若者の県内定着を推進するため、県内の過疎地域など指定地域に居住すること等を条件に、大学等在学中に借りた奨学金の返還額の一部を助成しています。（平成28年度から令和元年度までの４年間で49人を認定）・高等教育機関の取組支援平成27年度から令和元年度までの５年間、三重大学が中心となって、国の補助事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」を活用し、地域への愛着や関心を高め、県内での就職につなげていく「三重創生ファンタジスタ」の養成取組を進めてきました。（県は22の企業・団体とともに事業協働機関として参画）※ 三重創生ファンタジスタ・・・「地域課題に対して深く関心を持ち、主体的に活躍する人材」のこと。・高等教育機関の魅力向上の取組への支援（県版ＣＯＣ）県内高等教育機関が行う「県内高等学校からの入学者の増加に向けた取組」や「県内企業への就職支援」等、学生の県内定着に向けた新たな取組に対して、財政的な支援を行いました。（平成27年度から29年度までの３年間で、合計８機関９事業を支援）なお、多くの事業では、補助期間終了後も継続して取組が行われています。【今後の取組】・「高等教育コンソーシアムみえ」において、これまでの取組を進めるとともに、新たに「三重創生ファンタジスタ」の養成取組を三重大学等から引き継ぎ、地域に活躍する人材を育成していくことで、若者の県内定着につなげていきます。・奨学金返還額の一部を助成する制度については、これまでの枠組みに加え、県内での居住及び県内産業への就業等を条件とする枠組みを創設する等制度の充実を図り、より多くの若者が県内に定着するよう取り組んでいきます。 |
| 募集の要旨 | 県内高等教育機関卒業生の県内就職に向けて、景気動向が不透明である中、目標達成への効果的な取組について、ご意見をお願いします。 |
| ご意見 |  |

メール又は電子申請（QRコード）から応募して

ください

メールアドレス　zaisei@pref.mie.lg.jp

電子申請　右のQRコードから

お問合せ先　三重県総務部財政課

　　　　　　TEL:059-224-2216

お名前

住所

電話番号



|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 基本事業 | 目標項目（活動指標） | 目標値 | 実績値 | 達成状況 |
| 22701　県内高等教育機関の魅力向上・充実 | 県内高等教育機関への県内からの入学者の増加数 | 200人 | △12人 | 0.00 |
| 現状とこれまでの取組 |
| 【現状】・全国的に地元大学に進学した学生の地元就職希望の割合は高い傾向にあることから、若者の県内定着を推進するため、県内高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）への県内からの入学者の増加数を、平成27年度の2,677人を基準として、200人増加を目標に取り組みましたが、実績値は2,665人と目標に達しておらず、若者の県内定着は厳しい状況となっています。・例年、県内入学者が多い県内短期大学において、定員を充足していないことが、県内入学率が伸び悩んだ要因の一つと考えられます。【これまでの県の取組】・県内高等教育機関の魅力の向上「高等教育コンソーシアムみえ」において、他の高等教育機関の授業科目を受講した場合、単位が認定される単位互換制度を７高等教育機関、43科目にわたり実施するとともに、「三重を知る」共同授業を行うなど、学生にとって、県内高等教育機関各々の魅力がさらに高まる取組を行ってきました。・効果的な広報の実施「県政だよりみえ」で、若者の県内定着の特集を組み、県内高等教育機関で学ぶ魅力に加え、県内で働き、暮らすための県の支援等を紹介しました。また、三重県の良さを知り、将来、県内で住む、または三重県を応援してもらうため、漫画を中心とした冊子「地域と高等教育機関の魅力発信冊子『みえコレッ！』」を作成し、県内全ての高校２年生等に配布しました。・高大連携事業の促進県内高等教育機関の魅力を知っていただくため、高校生とその保護者を対象に、大学等の魅力を紹介するオープンキャンパスの取組に加え、「大学・短期大学での模擬講義」、「見学受け入れ」、「高校への出張講義」など高大連携の取組を促進しています。・高等教育機関の魅力向上の取組への支援（県版ＣＯＣ）県内高等教育機関が行う「県内高等学校からの入学者の増加に向けた取組」や「県内企業への就職支援」等、学生の県内定着に向けた新たな取組に対して、財政的な支援を行いました。（平成27年度から29年度までの３年間で、合計８機関９事業を支援）なお、多くの事業では、補助期間終了後も継続して取組が行われています。【今後の取組】・三重で学び、働き、住み活躍する若者を増やすため、「高等教育コンソーシアムみえ」における高等教育機関相互の連携取組などを通じて選ばれる高等教育機関としての一層の魅力向上を図るとともに、その情報発信に取り組んでいきます。 |
| 募集の要旨 | 県内高等教育機関への県内からの入学者の増加について、目標達成への効果的な取組について、ご意見をお願いします。 |
| ご意見 |  |

メール又は電子申請（QRコード）から応募して

ください

メールアドレス　zaisei@pref.mie.lg.jp

電子申請　右のQRコードから

お問合せ先　三重県総務部財政課

　　　　　　TEL:059-224-2216

お名前

住所

電話番号

